

世帯に関する項目

住居の種類

住居は、生活の本拠となる重要な場所です。この項目は、住居が持ち家か借家かなどによる生活行動の違いを明らかにするものです。



自家用車の有無

自家用車の有無は、身近な交通手段として生活行動に大きく影響するため、生活行動をとらえる上で欠かせない項目です。



世帯の年間収入(税込み)

わたしたちの行動は、時間と空間(場所)に加えて、費用(経済力)により大きく左右されるため、世帯の収入を把握することにより、費用面からみた生活時間の配分や余暇時間における活動の違いが明らかになります。



ふだん世帯員以外の人から介護の手助けを受けていますか

この項目は、介護を必要とする人がいる世帯において、別居の親族からの手助けや介護サービスなどを受けているかについて把握するものです。

これにより、世帯員の生活行動や生活時間にどのような影響があるのかを明らかにすることができ、今後の介護に関する支援などの施策のための基礎資料となります。



不在者の有無

この項目は、世帯に不在者がいるかどうかを把握することにより、その家族の生活行動を明らかにするものです。

例えば、入院している家族がいる場合や、配偶者が単身赴任などで長期間不在の場合、家族の生活行動にどのような影響があるかについて明らかにすることができます。

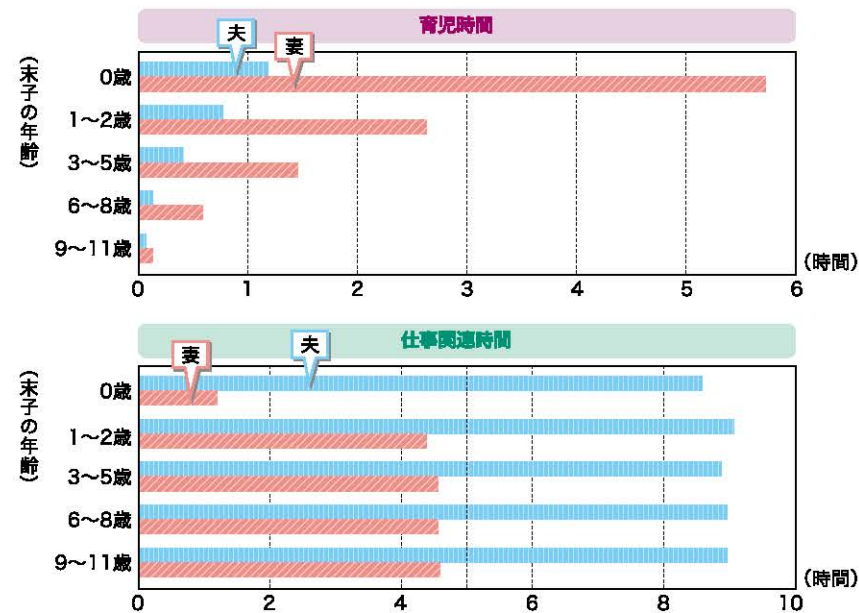
10歳未満の世帯員についての項目

世帯主との続き柄

年齢

世帯に10歳未満の子供がいるかどうか、子供がいる場合にはその子供の年齢によって、夫や妻の生活行動には大きな違いが生じます。これらを把握することにより、育児などの家事関連時間にかかる時間の違いが明らかになり、少子化対策の基礎資料となります。

末子の年齢別にみた夫・妻の1日の仕事、育児時間(共働き世帯、週全体) - 平成23年



(注) 仕事関連時間・・・「仕事」、「通勤・通学」の合計

育児時間は、末子の年齢が低いほど、夫、妻ともに長くなっており、その差も大きくなっています。また、夫の仕事関連時間は末子の年齢によって大きな違いはみられませんが、妻の仕事関連時間は末子が0歳の時に他と比べて大幅に短くなっていることがわかります。

在学・在園の状況

この項目は、未就学児の保育所などへの在園時間や10歳未満の小学生の学童保育の利用状況を調べるものです。子供の在学・在園の状況が家族の生活時間の配分に与える影響を明らかにするなど、雇用や子育て支援などにおける課題に対応するために必要な項目です。

ふだん世帯員以外の人から育児の手助けを受けていますか

この項目は、別居の親族や隣人などから育児の手助けや育児支援サービスを受けているかについて調べることにより、地域における育児に関する助け合いの状況などについて明らかにするものです。これも、雇用や子育て支援などにおける課題に対応する上で役立つ項目です。

